



手術を受けられる()様

*手術が安全・安楽に受けられるように、主治医・麻酔医・看護師が協力して援助していきます。
不安に思っていることや、わからないことがありましたら、お聞きください。



	手術室に入ってから <10分程度>	硬膜外麻酔 有・無 <15分程度>	全身麻酔 <10分程度>	手術<時間 分 予定>	手術終了～退室まで <30分程度>
麻酔 ・ 手術の 流れと 処置	<ul style="list-style-type: none"> 担当の看護師がお迎えます。 担当看護師が、名前と手術部位の確認をします。ネームバンドを見せていただき、ご自分で、お名前・手術部位を言っていただきます。 帽子をかぶり、手術をする部屋に移動します。 <p><手術をする部屋に移動してから></p>  <ul style="list-style-type: none"> 胸に心電図のシールを3箇所貼ります。 血圧計を巻きます。 血液内の酸素の量を測る機械のセンサーを指に軽くはめます。 点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中(背骨の間)に細いチューブを入れます。手術中そのチューブより痛み止めの薬を入れ、痛みを取り除きます。(手術によっては手術終了後抜くこともあります。)  <ul style="list-style-type: none"> 背中を消毒します。(消毒薬が冷たく感じます。) 背骨の間に痛み止めの注射をします。(最初は痛みますが、徐々に痛み止めが効いてきます。) 痛み止めをした所に再び針を刺し、硬膜外腔へチューブをいれます。 針は抜けてチューブだけが残ります。 チューブが抜けないように、テープを貼ります。  <ul style="list-style-type: none"> 麻酔が終わったら仰向けになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔薬、(麻酔ガス)を使って、眠っていただく麻酔です。 深く眠るため、気管内に人工呼吸用チューブを入れ人工呼吸を行う必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 酸素のマスクをします。麻酔医の指示に従って、深呼吸をしてください。 点滴から眠くなる薬が入り、徐々に眠くなります。(点滴の入っているところが、チクチクすることがあります。これは刺激のある薬のせいです。異常ではないので安心して下さい。)  <ul style="list-style-type: none"> 眠ってから人工呼吸用のチューブを気管内に入れます。(眠っているので痛くありません。) 弱い菌や、ぐらぐらしている菌がある場合、チューブを入れる時に、菌がかけたり、抜けたりすることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> 麻酔がかかってから尿道に管を入れ、尿が自然に出るようにします。(手術時間が短い場合は、入れないこともあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> 手術開始となります。  <ul style="list-style-type: none"> 専用の器械で両足のマッサージをします。(血栓・肺塞栓の予防になります。)  <ul style="list-style-type: none"> 電気メスを使用する場合は、シールを貼ります。(電気を体外に逃す働きをします。) 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔を醒まします。 <ul style="list-style-type: none"> 手術が終了しましたら、麻酔を醒まします。  <ul style="list-style-type: none"> 声をかけますので、御協力ください。目が醒め、自分でしっかり呼吸できることを確認します。 気管と口の中の痰を吸引した後、人工呼吸用チューブを抜きます。(目が醒めても、自分で呼吸できるようになるまでは、人工呼吸用チューブが入っていることがあります。チューブが入っている間は話できません。)  <ul style="list-style-type: none"> チューブを抜いて数日間、のどに違和感があったり、声がかすれることがあります。 心電図・血圧計・酸素のモニターを外します。 点滴は入ったままです。 麻酔が充分醒めてから、ストレッチャー(ベッド)に移動し、病棟もしくは、集中治療室に帰ります。 
	説明・お願い	<p><お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> 手術用のベッドは狭いので、体を動かす時は、1人で動かないようにして下さい。 担当看護師はずっと傍にいます不都合なことがあれば、何でもおっしゃってください。 	<p><お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> 注射をしている時は、危ないので、体を動かしたりしないでください。 痛みがあるようでしたら、傍にいる麻酔医や看護師に言葉で伝えてください。 	<p><説明・お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> ☆必要に応じて、首などに点滴をします。 動きにくい関節(膝や肩など)があったり、痛みやしびれのある部位はあらかじめ教えてください。 適宜対応いたします。 	<p><お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> 手や足がベッドから落ちたりしないように、軽く固定します。